

# ODA

発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会  
 編集 沖縄県障害者社会参加推進センター  
 〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1  
 TEL(098)851-3455 FAX(098)851-3855  
 ホームページアドレス <http://www.okisin.jp>  
 Eメールアドレス [okisinky@blue.ocn.ne.jp](mailto:okisinky@blue.ocn.ne.jp)  
 頒価一部100円（会費に含まれています）

## 沖縄県障害者社会参加推進センターだより 第52号

### 第35回 耳の日記念大会 （沖縄県聴覚障害者協会）

平成31年3月3日（日）、ゆいホールを会場に第35回耳の日記念大会を開催しました。

式典は、ご来賓の皆様が手話で自己紹介をし「沖縄県手話言語条例」に基づく手話の普及や聴覚障害者に対する理解の促進に取り組み、手話を使いやすい地域社会の実現を目指しますと話されました。



講演会では、NHK手話ニュースキャスターの小野寺善子氏を講師に招き「伝わること」のかけがえのなさ～生い立ちから手話ニュースキャスターを経て～と題し、「私たち、ろう者にとってかけがえのないものは、本当に伝わる環境の中で安心して暮らせることであり、情報保障の手段が色々あっても、真に伝わらなければ意味がなくなります」と話されました。



参加者は、ろう者の母語である手話を大切に守り、伝わって当たり前になる大切さを実感し、日頃からテレビで手話ニュースを見ている裏側では、たくさんのスタッフが聴覚障害者の視聴者にわかりやすく伝えるために色々な努力や工夫をしていることを学びました。

アトラクションは「創作エイサー天龍舞」「琉球壘太鼓」が出演、太鼓の振動を体で感じとってパフォーマンスをする姿にとっても感動していました。会場に若い人や中高校生の姿が少ないので、もっと参加を呼びかけ、年齢層に関係なく誰でも楽しめる耳の日記念大会にしたいと思います。

### 平成30年度 障害者スポレクフェスタ

平成31年1月26日（土）、沖縄県総合運動公園レクリエーションドームを会場に『平成30年度障害者スポレクフェスタ』を開催しました。

今年は前年の2倍以上の207人が会場に集まり、『スポーツ吹矢』『風船バレー』『フライングディスク』『ラダーゲッター』『グラウンドゴルフ』『ボッチャ』の全6種目をかかわるがわる体験しました。



児童デイからの参加も多く、会場には子どもたちの声が響き、種目によっては老若男女が同じコート内で競技を楽しんでいました。

時間の都合上、1つ1つの体験時間は短かったです。参加者の皆さんが今後各競技とふれあうきっかけになれば良いと思います。また、関係団体の皆さんの御協力ありがとうございました。

## 平成30年度全国手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会全国研修大会 沖縄大会



平成31年1月26日（土）、那覇市の沖縄県青年会館において「平成30年度全国手をつなぐ育成会連合会・事業所協議会全国研修大会・沖縄大会」を約200名の参加者にて開催しました。

厚生労働省の片桐公彦専門官の行政説明をはじめ、シンポジウムコーディネーターには全国育成会連合会の田中正博統括、又村あおい氏などをお招きして、障がいのある人の日中活動支援や高齢社会における地域生活への支援などについて、熱い討議が行われました。

少人数の無認可作業所からスタートし、障がいのある人が地域で安心して生活できる環境を求めて、親の会運動の両輪と言われてきた地域の事業所ですが、いつのまにか成果主義的運営のあり方が静かに浸透し、産業化への進行が危惧されています。また、事業所等における虐待の実態把握は氷山の一角であり、意思決定支援などを含めた権利擁護の実践も事業所に課せられた大きな課題であります。

地域生活の拠点であるべき事業所ができる事、さらに事業所でなければできない支援などを含め、今後求められる事業所の役割や地域生活支援のあり方、職員の支援力の向上、持続的な経営基盤の安定など、当大会で様々な視点から検証した議論を、今後の運営に役立てていただければ幸いです。



## 第5回 こころんピックソフトバレー大会

平成31年1月30日～2月1日の3日間、沖縄県立総合運動公園体育館にて「全国障害者スポーツ大会バレーボール競技沖縄県ブロック予選会（通称こころんピック）」を開催しました。



今大会は、人のふれあいやスポーツの感動を大切にしながら精神障害者スポーツの振興と、精神保健福祉の普及啓発をはかり、精神障害者の社会参加を促進することを目的とし、18回目の開催となりました。今年は、宮古、八重山からの離島チームを含む県内14チームが熱戦を繰り広げ、なかゆくい（精和病院）チームが大会5連覇という偉業を成し遂げました。また、準優勝は、がじゅまる会（オリブ山病院）チームで、3回目の出場で初の準優勝という好成績を収めました。

大会に参加する当事者の皆さんから、スポーツを通して仲間が出来、体力の向上や、自己実現、社会参加への促進へと繋がったというお声をいただきました。今後もこの大会が、当事者同士、大会関係者、ボランティアや地域の方達との交流の場となり、障害者スポーツへの理解の促進、共生社会の構築へと貢献できる大会にしていきたいです。

最後に、本大会にご協力いただきました沖縄県バリアフリーバレーボール協会、沖縄県ソフトバレーボール連盟、沖縄県障がい者スポーツ協会、ボランティアの皆様へ厚くお礼申し上げます。



## 音声機能障害者発声訓練及び個人指導・ その他発声相談等について

開催日	会場
毎月第1～4土曜日 (14:00～16:00)	沖縄統合医療学院（2号館）
毎月第2木曜日 (14:00～16:00)	浦添市ショッピングセンター 3階コミュニティサロン あなたのわくわく来楽歩

※祝祭日は全教室お休みです。  
訓練教室講習料・駐車場：無料

しるほにことば、こころに愛  
発声教室

沖縄県友声会 田名会長に同行して・・・

喉頭摘出手術を受けた方の訪問相談に伺いました。術後の必要な知識や情報がなく、ご家族と共に不安な日々を過ごされていたようで、日常での気管孔の保護方法から役場での手続きまで、田名会長が丁寧に説明し、質問にも応じていました。次第に同席していた皆さんの表情も明るく前向きになっていくのが印象的でした。「今後は発声訓練にも参加したい」と話されていました。

・沖縄県友声会 会長：田名 勉  
(代行連絡先：阿波連)

TEL：090-9887-4043

E-mail：okinawan\_aloha@live.jp

## ヘルプマークご存じですか？

ヘルプマークとは、内部障害や発達障害、難病、妊娠初期の方など、外見から分らなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることを伝えるマークです。



ヘルプマークを身に付けた方を見かけたら、バス等の席を譲る、声をかけるなどの思いやりのある行動をお願いします。なお、お住まいの市町村窓口にて配布しています。

(沖縄県ホームページより)

## 『障害者110番』相談受付件数

(平成30年4月～平成31年2月まで)

### ① 年度別、月別・障害別相談件数 (単位：件)

	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	不明・他	計
4月	3		29	3	35
5月	9		66	3	78
6月	8		57	3	68
7月	3	1	58	6	68
8月	4	1	64	9	78
9月	2		67		69
10月	4	1	32	7	44
11月	5	1	60	3	69
12月	5	2	42	4	53
1月	3	1	55		59
2月	2	2	63	1	68
合計	48	9	593	39	689

### ② 年度別、月別・内容別相談件数 (単位：件)

	① 人権問題	② 生活支援	③ 医療・福祉	④ その他	計
4月	11	15	8	1	35
5月	12	43	19	4	78
6月	8	45	13	2	68
7月	5	34	22	7	68
8月	21	36	14	7	78
9月	6	40	15	8	69
10月	15	10	12	7	44
11月	17	25	23	4	69
12月	13	15	23	2	53
1月	26	16	13	4	59
2月	16	38	9	5	68
合計	150	317	171	51	689

## 障害者110番

障がい者の人権を守り、生活を支援します

◆ 相談日：月曜日～金曜日 9:00～17:00

【相談内容】人権問題・生活支援・医療福祉・その他障がい者自身または家族、友人や知人で悩んでいる方、困っている方などの相談。あなたの近所の方で悩んでいる、困っている方などの情報をお気軽にご相談ください。

※ 秘密は守ります。相談は無料です

【問い合わせ先・連絡先】

◆ 電話(FAX 兼用):098-851-3910

◆ メールアドレス:jimukyok14@okisin.jp

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1

(沖縄県障害者社会参加推進センター 相談室)





# おきしんきょう通信

— 沖縄県身体障害者福祉協会 —



## 経営理念

一、利用者本位      一、社会貢献      一、責任と実行

### 平成30年度 障害者施策等研修会

平成31年2月18日(月)、南風原町立中央公民館黄金ホールにて、上記研修会を開催しました。今回は前年度を大きく上回る約150名の参加がありました。



第1部では熊本学園大学より東俊裕教授を招き『障害者差別解消法と合理的配慮』のテーマで講演頂きました。障害者差別解消法の概要は知っていても細かい内容は把握できていないと気付かされたという声や、微力ではあるが社会的障壁の除去に向けて身近なところから啓発行動を行いたいなどの声がありました。第2部では沖縄大学より島村聡准教授に『意思決定支援と合理的配慮』のテーマで講演頂きました。事例を基にした講演を受けて、日頃の支援に対する振り返りになったという声や、アセスメントや、本人を取り巻く支援者等の連動に対する重要性の再確認、本人の意思を相手に決めつけていたことへの反省など“うちあたり”したという声が多数ありました。



同テーマでの再講演を望むリクエストもあり、このテーマへの意識の高さがうかがえました。

### 第64回日本身体障害者福祉大会 (参加申込案内)

第64回日本身体障害者福祉大会が秋田県にて開催されるにあたり参加者を募集しています。なお、沖身協では下記日程で観光ツアーを計画しております。

旅程：5月22日(水)～24日(金)  
(福祉大会：5月23日)

参加締切：4月19日(金)



詳細は沖身協ホームページまたはお問合せ下さい。(沖縄県身体障害者福祉協会 業務課)



TEL：098-851-3455

FAX：098-851-3855

E-mail：jimukyok21@okisin.jp

### ゴールボール体験会に参加しました

平成31年2月9日(土)・10日(日)日本ゴールボール協会主催の体験会が沖縄盲学校で開催されました。ゴールボールとは、1チーム3名のプレーヤー(目隠し着用)がコート内で鈴入りボールを転がすように投球し、一定時間内に相手ゴールにいれた得点で勝敗を決める競技です。

当日はパラリンピック強化選手で同校卒業生の安室早姫さんを含む協会の皆様から実技指導等があり、見るだけではわからないスポーツの楽しさを体感することができました。



2020年東京パラリンピック正式種目です。世界で戦う安室選手の姿を期待しています!